

## 広報 第六号

## さくら前線

## 『痛み』について

さくらライフ市川クリニック

院長 林 高太郎

日々の診療の中で、患者様からの訴えで多いのは『寝れない』、『便が出ない』、『食欲がない』などですが、その中でも特に多いのが『痛み』です。頭の方から足の先まであらゆる場所の痛みの訴えがあります。

ただ、この『痛み』というのは主観的な概念で、感じている本人以外には同じように感じることも、理解もできません。また、血圧や脈拍のように測定して数字で表すこともできず、レントゲンやエコーなどの画像検査などで評価もできません。そのため、『痛み』のある部位の診察のほかにも、その性状を詳しく質問します。例えば『朝起きると頭が痛い』、『空腹時におなかが痛い』、『長く歩くと腰が痛い』、『走ると膝が痛い』などです。

また、『痛み』の強さを評価するために、『チクチク』、『シクシク』、『ズキズキ』など擬音で表現してもらったり、患者様の表情から予測したり、本人に十段階で表現してもらったりする方法などもありますが、いずれにしても客観的に評価することはできません。

さらに厄介なことに、痛みには精神的な痛みというものもあります。慢性的な痛みを訴える場合などに多いですが、物理的に痛みの原因がないにもかかわらず、『痛み』を感じることもあるのです。例えば日頃から腰椎椎間板ヘルニアなどで腰痛発作を繰り返している人に、中腰で重い荷物を持ち上げようとしている人の写真を見せると腰痛を感じることもあるのです。

実は骨折などの外傷だけでなく、感冒や胃腸炎などの多くの病気の初期の症状として『痛み』は非常に重要で、病院受診の良いきっかけになります。重い病気であるにもかかわらず『痛み』がない病気も少なくありません。例えば高血圧や糖尿病では痛みはないですし、ガンなどの悪性疾患ではある程度進行するまで『痛み』がないことが多いのです。



痛みの治療としては内服薬、坐薬、湿布や塗り薬などの外用薬だけでなく、局所麻酔薬などを用いたブロック注射も行っています。また、ガンの末期などで内服などが厳しい場合には、シールのような貼付薬、点滴などを用いて持続的に鎮痛薬を投与する方法などもあります。どのような薬を用いるかは、『痛み』の原因、場所、強さなどで異なります。

『痛み』について色々書いてきましたが、『痛み』を治すための一番の近道は、いかに自分の感じている『痛み』を上手に伝えるかにかかっているということなのです。

## 施設紹介

さくらライフ市川クリニックは「在宅緩和ケア充実診療所」の届け出を行っており、終末期の患者様にも対応しています。

また、管理栄養士が在籍し食事や栄養に関するご相談もお受けしています。

内科・精神科・整形外科  
・皮膚科と多様なニーズにお応えしながら患者様の在宅生活を支えています。

新規ご依頼についてはまず当院相談員までお問い合わせください。





着任の挨拶

外科医師 真木 茂雄

毎週月曜日に勤務させて頂く事になった真木茂雄と申します。地域の皆さんのために、吾妻さくら病院のスタッフの一員として頑張ります。宜しくお願いします。

薬局だより



『感染症といえば「予防」』

主任管理薬剤師 門脇 寛篤

皆様、お久しぶりです。新さくら前線となり、投稿する機会が減りました。病院ではコロナ対応や感染症対策、患者様ご家族の面会制限続行など、「ご迷惑をおかけしていることでもあります。どうか、このご時世です、少々のお互いの我慢をお願いしたいと思います。

それはさておき、現在、感染対策の一環として様々なことを行っております。まずはそこを解説していきます。

現在、外来では空気清浄機による空気感染予防、フェースシールドやマスク、窓口や診察室、透析患者様の仕切りに透明カーテンの設置を行っています。手指消毒剤の供給設置は当然のことながら行っており、転院患者様のいらっしゃる病室へはアルコール噴霧の実施を行っています。今回のコロナで注視しなければい

けないことに「飛沫感染」をさせない、他人の唾液を体内に入れないことがメインとなります。そのため、ビニールカーテンやアクリル板のようなもので、各店、覆って対応をしているという流れであります。

感染対策においては、以前も書きましたが、「標準予防策：スタンダードプリコーション」という施策を医療機関は行っています。標準予防策とは、すべての人は伝播する病原体を保有していると考え、患者および周囲の環境に接触する前後には手指衛生を行い、血液・体液・粘膜などに曝露するおそれのあるときは個人防護具を用いることとなります。そこには、マスク・ガウン・手袋をはじめとし、さらにコロナの関係からフェースシールドも使用されるようになりました。当院では、外来患者様同士の曝露に配慮し、つい立や一方通行で運用できる通路などの改造も行いました。

このように、感染対策を行うことで「予防」に当院は努めております。ですので、外来患者様や健診等で当院へお越しになる方々の不安も払拭して、遠慮なく受診できる環境を整えております。受診の際は、マスクは着用してお越し下さい。皆様の協力をお願い申し上げます。

お知らせ



● 入院や、人工透析療法、訪問診療を希望されている方など、「ご相談は医療相談窓口にて対応させていただきます。」

診療案内(7月)

診療科		月	火	水	木	金	土
内科 循環器科	午前	瓜田	於川	於川	於川	於川 ※1	於川
	午後						休診
外科 胃腸科 (整形・リハビリ科)	午前	真木 (群大)	大井 (群大)	休診	中澤 (群大)	笹口 ※2	(群大)
	午後						休診

- ※1 第1・3金曜日(3日・17日)AM9:45~17:00は非常勤内科医師の診療となります。
- ※2 第1・3金曜日(3日・17日)は、外科休診となります。
- ◆ かかりつけ患者様の急病時はいつでも対応します。
- ◆ 外科休診日でも軽度のケガ等はご相談ください。
- ◆ 7月休日当番医は、12日(外科)・23日(内科)・26日(外科)となります。

※ 外科医師交代 関 → 大井(火曜日担当)

外来受付時間：午前 8時45分 から 12時00分まで / 午後13時00分 から 17時00分まで

休診日：土曜日午後、および日曜・祝日

※ 診療日変更となる場合もございますので、院内掲示板や受付窓口にて最新情報をご確認ください。

発行：吾妻さくら病院 広報委員会

吾妻郡中之条町伊勢町 782-1

TEL: 0279-75-3011

FAX: 0279-75-3299

URL: <http://www.a-sakurahosp.com/>